

夢と情熱があればできる ホテルサービスのパイオニアの 生き様を12人の“証言”で再現。

橋本保雄(はしもと やすお)

1931年生まれ。宮城県立仙台第二高等学校、東北学院大学経済学部卒業。東京YMCA国際ホテル専門学校、山の上ホテルを経て、1960年にホテルオークラに入社。宴会課長、料飲部長、マーケティング部長、95年取締役副社長に就任。日本ホスピタリティ推進協会理事長、社団法人日本ホテル・レストランサービス技能協会(HRS)会長、社団法人日本ブライダル事業振興協会(BIA)副会長、全国宴会支配人協議会(BMC)会長等の要職を歴任。後進の育成にも力を注ぎ、函館大学客員教授をはじめ、多くの大学やホスピタリティを求められるさまざまな業界の講演活動を続けたカリスマ的存在。2006年没。

ホスピタリティ創新塾

塾長は、橋本保雄。第一回は、2004年日本YMCA同盟国際研修センター『東山荘』にて開催。主な活動は、年に数回各分野の第一人者を講師に招く勉強会、さまざまなイベントに参加する体感セミナー、国内外での視察旅行など。塾長亡き後も遺志を継いで活動を続け、現在に至る。詳細はブログで公開中。

B6判並製 192頁 定価1,680円(税込)

「ホスピタリティの神様」に学べ！

HASHIMOTO YASUO
伝説の男 橋本保雄

ホスピタリティ創新塾 編

BABジャパン

本文目次紹介

第一章

～起～ 和を保て、人を癒せ！

恩師の鉄拳に育てられた不屈の魂
マザコンのどこが悪い
お茶と漬け物に教えられた癒しの心
人の和がパワーを生む
忘れられない“取り立て屋”経験
骨太教師の落第宣言
偏見を持ったらやさしさを感じられない

第二章

～承～ 汗をかけ、知恵を出せ！

母に導かれたホテルマンへの道
トイレ掃除が心理学教本
ホテル業界は「とんでもない世界」
“人間ウォッチング”が五感を鍛える

「第三者の信用状」はビジネスの最強武器
人心掌握の“秘策”は挨拶にある
チャンスはアイデアで創れ
常識にとらわれないから「新常識」を創れる
挑戦心が新たな局面を開く
セールスのターゲットは学校だ
新サービスの生みの親は三島由紀夫だった
吉田俊男社長がくれた「涙の卒業証書」

第三章

～転～ 形を壊せ、殻を破れ！

夢を共有すれば士気は高まる
「痛い！」橋本流ホテルマン教育
初辞令は「宴会課長に任ず」
ルール破りは許さない
与えよ、さらば与えられん
情報も人材も抱え込むな、放て！
目力のないやつは通用しない

慇懃無礼なサービスは徹底排除する
目標は“数値化”する
名刺もネクタイも使えよう
型を破ればアイデアが湧き出す
新たなスタイルを確立したオークラの婚礼
健康を“サービス”する
オークラの味を出前する
『ケータリング部十訓』
タブーに挑戦せよ

第四章

～結～ 時代を読み、夢を持て！

歩み入る者に安らぎを、去り行く人に幸を
自分の看板は絶対下ろすな
強面おやじの意外な素顔
愛してやまなかった仙台
地方色にこそホスピタリティがある
若き君たちへ、これだけは伝えたい